令和2年度

仕　様　書

モエレ処理場管理業務

環境局環境事業部処理場管理事務所

仕　　様　　書

１　業務名
　モエレ処理場管理業務

２　業務概要
　本業務は、モエレ沼公園内からの浸出水を処理施設に圧送し、凝集沈殿方式により汚水を処理し放流基準を満たした上、河川に放流する。

３　履行期間
　令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

4 業務従事日及び時間
(1)　業務従事日は、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日、12 月 29 日～1 月 3 日を除く毎日とする。
　また、別途契約での整備、修繕等が行われる場合は、上記に関わらず立会を行うこと。
(2)　業務時間は、午前 8 時 30 分～午後 5 時までとする。

5 委託業務履行場所
　札幌市環境局環境事業部処理場管理事務所　モエレ処理場
　札幌市東区モエレ沼公園1番地2号

6 施設概要
(1) 敷地面積 ： 2,763 ㎡
(2) 建築面積 ： 926 ㎡
(3) 建物構造 ： 地下1階、地上 2 階、RC造
(4) 延床面積 ： 2,249 ㎡
(5) 施設内設備
　ア 中央監視装置
　イ 浸出水処理施設
　ウ 汚泥脱水設備
　エ 電気設備（受電・動力・照明等）
　オ 給水・衛生設備
　カ 暖房設備

7 業務内容
　(1)浸出水処理作業
　　ア 満たすべき放流基準はBOD 3mg/ℓ以下とする。
　　イ 処理設備の運転及び点検整備
　　1)業務人員は常時 2 名以上とする.
　　2)処理設備の運転操作
　　3)処理設備及び使用機器等の整備点検
　　① 整備対象機器は「主要機器一覧」による。
　　機器の仕様に応じて油脂類・消耗品の交換・補充を行う。また必要に応じ支給部品の交換、清掃等を行う。

② 受電設備等については、「モエレ処理場受電設備等点検記録」(様式－4)に示す点検対象機器及び頻度に基づき、点検整備を実施する。

③ 浸出水処理設備については、「モエレ処理場浸出水処理設備点検記録」(様式－5)に示す点検対象機器について、毎月１回点検整備を実施する。

4)関連施設の維持管理

①関連する施設、設備の維持管理を行う。(現場マンホールポンプの緊急時対応等)

②施設内の整理整頓・清潔の保持に努め、施設(槽内含む)の清掃等必要な処置を適宜行うこと。

③汚泥等の運搬・処分は、委託者が実施する。

ウ 測定・試験

1) 毎日実施。

① 浸出水量

② 処理水量(引抜汚泥量、脱水汚泥量含む)

③ 光熱水使用量(井水、電力、灯油、水道)

④ 外気温

⑤ 水質試験(水温、pH、透視度、溶存酸素量)

⑥ 電気測定(電圧、電流、負荷電力等)

⑦ 薬品使用量(硫酸バンド、高分子凝集剤)

2) 月１回実施。

① 汚泥(汚泥貯留槽、脱水汚泥)含水量

② 集水マンホール水位

3) 年１回実施。

① 電気測定(高圧回路を除く絶縁抵抗測定)

(2) 搬入路及び構内の草刈

草刈範囲図に示す区域の草刈を実施する。

実施回数は年２回とする。

刈草は2～3日乾燥後、積込みを行い、清掃工場へ搬出する。

(3) 搬入路及び構内除雪(後述、除雪仕様書による)

(4) 清掃業務

清掃平面図に示す部分の日常清掃(週1回)を実施する。

(年末・年始及びゴールデンウィークを除く)

清掃平面図に示す部分の定期清掃(年2回)を実施する。

(5) 停電作業

受託者は、年次点検業務(別途発注の電気保安管理業務)を原則として次の月に行う。

受託者は、立会いを要する。

10月

(6) その他業務主任の指示

施設の維持管理・運転管理上必要と判断されることは、業務主任と打合せの上、指示に従い行うこと。

8 実務経歴者配置区分

本業務の履行場所には、(１)～(２)の実務経歴者を配置するものとし、業務経歴書を契約後速やかに委託者に提示し、承認を受けること。また、必要に応じ(３)の業務従事者を配置すること。

(1) 保全技師Ⅱ

受電設備等以外の設備の点検整備業務について、高度な技術力及び判断力並び

作業等の指導の総合的な技能を有し、実務経験 15 年以上程度の者

(2) 保全技師補

ア 設備の点検整備業務について、作業の内容判断ができる技術力及び必要な技能を有し、実務経験 10 年以上 15 年未満程度の者

イ 運転・監視及び日常的な点検保守業務について、高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験 10 年以上程度の者

(3)保全技術員補

ア 設備の点検整備業務について、保全技術員の指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験 5 年未満程度の者

イ 運転・監視及び日常的な点検保守業務について、保全技術員の指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験 5 年未満程度の者

＊平成 30 年度版国土交通省大臣官房官庁営繕部 計画課保全指導室に準拠する。

9 業務責任者等

(1)業務の履行にあたり、受託者は上記、業務従事者から業務責任者を定め、委託者に書面にて通知するものとする。業務責任者を変更したときも同様とする。

(2)業務責任者は、他の従事者に作業内容及び業務主任の指示事項等を伝え、その周知徹底を図る。

(3)業務責任者が休暇、病気その他やむを得ない事情により不在となるときに、その業務の代行を行う副責任者を定めなければならない。副責任者は、同等施設での実務経験を有する者から選任する。

(4)最終処分場技術管理士(一般財団法人日本環境衛生センター交付)の認定証を有する者を選任し、廃棄物の処理および清掃に関する法律に規定する維持管理の基準に係る違反が行われないよう従事者を監督し技術指導を行うこと。 なお、技術管理士は業務責任者を兼ねることができる。

※選任者は、事故等の場合に1時間程度で現場へ到達できる者とすること。

10 業務主任

委託者は、受託者の業務の履行について、指導・監督する業務主任を定め、書面をもって受託者に通知するものとする。業務主任を変更したときも同様とする。

11 業務の再委託

草刈・除雪および清掃業務については再委託を認めるが、事前に委託者(様式8)の許可を得ること。この場合は、受託者が責任を持って再委託先の業者を監督し、委託者に報告書を提出すること。

12 費用負担

(1) 委託者が負担するものは下記のとおりとする。

ア 浸出水処理に必要な電力、上水道。

イ 凝集沈殿、脱水に必要な薬品(硫酸バンド、高分子凝集剤)に要する経費。

ウ 浸出水処理施設の整備、補修に必要な機械部品(消耗品は除く)に要する経費。

(2) 前項に定めるもの以外は受託者の負担とする。

ア 蛍光管を含む電球類、油脂類、灯油、各種洗浄剤等

イ 施設で発生する生活ゴミの処理に要する経費

13 浸出水年間処理計画

(1) 施設の処理能力 1,000m^3／日

(2) 令和2年度処理予定量 540m^3／日

14 提出図書

（1） 着手時に提出 （各2部）

ア 業務着手届

イ 業務責任者指定通知書

（経歴書、資格書（写）、受託者との雇用関係を証明する書類等を含む）

ウ 技術管理士指定通知書

（資格書（写）、受託者との雇用関係を証明する書類等を含む）

エ 業務従事者届

オ 業務工程表

カ 休日、夜間緊急連絡体制表

キ 緊急事態対応手順書（以下の状況を想定した初期対応の手順書）

① 危険薬品の漏洩

② 酸素欠乏症の発生

（2） 毎日作成し、提出

ア モエレ処理場浸出水処理業務日誌（様式－1）

イ モエレ処理場電気日誌（様式－2）

（3） 毎月（毎月末現在）作成し、提出

ア 業務完了届（役務－第22号様式）

イ モエレ処理場業務月報（様式－3）

ウ モエレ処理場受電・配電設備点検記録（様式－4）

エ モエレ処理場浸出水処理設備点検記録（様式－5）

オ 支給部品等の出納報告

カ ポンプ等の修理及びオーバーホール等の報告（写真付）

キ その他業務監督員が必要と認める事項

（4） 業務実施報告書

ア 草刈作業実施報告書

イ 除雪作業実施報告書

（5） 労働社会保険諸法令遵守状況確認に関する特記事項

受託者は、次に掲げる書面を、委託者が指定する期日までに提出すること。

ア 労働者の労働環境に関する書面の提出

① 業務従事者名簿（様式1）及び業務従事者配置計画書（様式2）

業務対象施設に日常に従事する労働者の把握とともに、労働者の配置計画及び社会保険加入義務を確認するため、業務従事者名簿（様式1）及び業務従事者配置計画書（様式2）を履行開始日の前日までに提出すること。また、労働者が変更となる場合には、その都度、業務従事者名簿を、変更後の労働者が従事する日の前日までに提出すること。

② 業務従事者健康診断受診状況報告書（様式3）

労働者（上記①）の業務従事者名簿（様式1）により報告のあった労働者） 健康受診等状況を確認するため、業務従事者健康診断受診等状況報告書（様式3）を、当該報告事項確定後から 履行期間内において、1年毎に1回当該書類を提出すること。

③ 業務従事者支給賃金状況報告書（様式4）

労働者の支給賃金状況を確認するため、年1回、委託者が指定する期日までに、業務従事者賃金状況報告書（様式4）を提出すること。

イ 労務管理に係る書類

次のいずれかに該当する場合にあっては、受託者は、上記アの書面のほか、契約約款第16条第2項の規定に基づき、受託者が保管する雇用契約書、賃金台帳、出勤簿その他の労務管理に係る書類を、委託者が指定する期日及び場所において、委託者が確認できる

状態にすること。

① 低入札価格調査を実施して契約を締結したもの

② 上記アの書面での確認において疑義が生じたもの

なお、この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を用いることができる。

15 受託者に貸与する図書及び施設等について

業務の実施に先立ち、以下の図書及び施設等を貸与する。

業務に必要となる工具、測定器等は受託者が準備すること。なお、施設に備え付けられた工具等の維持管理は受託者が適切に行うこと。

(1) しゅん功図書一式

(2) 施設内事務室及びその他付帯設備(電話・机・椅子等)

16 環境負荷の低減

(1) 業務の履行にあたり、本市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷の低減に努めること。

(2) 電気、水道等の使用にあたっては極力節約に努めること。

(3) 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。

(4) 業務の履行において使用する物品は、極力環境に配慮したものとすること。

(5) 業務の履行に伴い排出される廃棄物を極力減量し、リサイクルすること

17 情報セキュリティ

(1) 業務の履行に伴い知り得た情報は、一切他に漏らしてはならない。

(2) 施設内に関係者以外を立ち入らせてはならない。

(3) 庁舎を施錠する鍵の管理には十分注意し、紛失等の事故を起こさないようにする。

(4) 施錠することなく庁舎内を無人にしてはならない。

18 委託業務の新旧引継ぎ

(1) 受託者は、次期の運営管理受託者に対し委託期間終了予定日の概ね3週間前から委託期間終了予定日までの間に業務の引き継ぎを行わなければならない。引継いだ内容等は文書にして、委託者に報告すること。

また、次期受託者を実務等立会のもと、実操作を行わせる等、操作指導を含めた引継ぎをすること。

なお、委託業務完了時に、当該年度の業務内容、維持管理状況及び実績について精査し次年度以降、評価の対象とする。

引継ぎに必要なマニュアル等は積極的に作成し、資料・報告書と共に、次期受託者に引継ぐものとする。

(2) 受託者が新規契約者の場合は、(1)と同様に前委託者より業務の引継ぎを受け、業務履行に支障を来たさぬよう操作方法等を習得すること。

19 その他

(1) 疑 義

本仕様書に疑義が生じた場合及び本仕様書に定められていない事項については、双方協議により定める。なお、業務委託仕様書に記載なき事項であっても、業務遂行に必要なものは受託者の責任においてこれを処理すること。

草 刈 仕 様 書

1　草刈について

進入路及び構内の草刈を実施するものである。

（1）　草刈の範囲

草刈範囲図に示す区域の草刈を実施する。

（2）　草刈の実施回数

年2回とする。

（3）　刈草の処理

刈草は、2～3日乾燥後、袋詰め・積込みを行い、清掃工場へ搬出する。

2　その他

草刈業務については再委託を認めるが、事前に委託者の許可を得ること。この場合は受託者が責任をもって再委託先の業者を監督すること。

草刈の作業中は、事故を起こさぬよう努めること。

除 雪 仕 様 書

1　冬期間の除雪について

冬期間の処理業務を円滑に実施するために、搬入路及び構内の除雪を実施するものである。

（1）　除雪の期間

令和2年 11 月 15 日から令和 3 年 3 月 25 日まで

（2）　除雪作業の機種

トラクターショベル（1.4m^{3}級から 2.0m^{3}級・可変プラウ装着）と同等及び同等以上の除雪機械とする。

2　除雪の工種

（1）搬入路除雪　・構内除雪

降雪量が 15cm 以上と予想されるときまたは吹溜りにより車両の通行に支障となる場合、指定された範囲（図面参照）の除雪を行う。

（2）吹溜り除雪

搬入路及び構内が吹溜りにより車両の通行に支障となる場合、指定された範囲（図面参照）の除雪を行う。

（3）路面整正除雪

搬入路及び構内がワダチ等により車両の通行に支障となる場合、指定された範囲（図面参照）の除雪を行う。

3　その他

除雪業務については再委託を認めるが、事前に委託者の許可を得ること。この場合は受託者が責任をもって再委託先の業者を監督すること。

除雪の作業中は、事故を起こさぬよう努めること。

清 掃 仕 様 書

１．国土交通省大臣官房営繕部監修平成 30 年度版「建築保全業務共通仕様書」に基づき実施する。

２．清掃場所および面積は、平面図による。

（１）床の日常清掃は、週１回とする。（年末年始、ゴールデンウィークを除く）　５０回／年

（２）床の定期清掃は、年２回とする。

３．清掃用具、消耗品は受託者が負担する。

４．トイレットペーパー等衛生消耗品は受託者が負担する。

５．施設で発生する生活ゴミの処理に要する経費は受託者が負担する。

主　要　機　器　一　覧

1　集水マンホール

（1）№1 集水マンホール

水中ポンプ　ＤＮ80/100　Ａ－Ｐ　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

（2）№2 集水マンホール

水中ポンプ　100ＤＳ55.5　　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

（3）№3 集水マンホール

水中ポンプ　ＤＮ80/100　Ａ－Ｐ　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

（4）№4 集水マンホール

水中ポンプ　CN100　　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

（5）№5 集水マンホール

水中ポンプ　CN100　　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

（6）№6 集水マンホール

水中ポンプ　ＤＮ80/100　Ａ－Ｐ　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

（7）№7 集水マンホール

水中ポンプ　CN100　　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

（8）№8 集水マンホール

水中ポンプ　100DLC　55.5　２台　３相 200ｖ　50Ｈｚ　5.5ｋｗ

2　調整槽水中曝気装置

水中攪拌ポンプ

100DE　53.7　３相 200ｖ　50 Ｈｚ　3.7ｋｗ

3　侵出水圧送ポンプ

水中ポンプ

S3N80　　３相 200ｖ　50Ｈｚ　2.2ｋｗ

4　沈殿槽集泥機

減速機

CVVM05-6190TA-TL-17255　３相 200ｖ　50 Ｈｚ　0.4ｋｗ

5　急速攪拌槽

攪拌機

C14VN5－6140－15　３相 200ｖ　50 Ｈｚ　3.7ｋｗ

6　緩速攪拌槽

攪拌機

ST44－G3NS－2.2　２台　３相 200ｖ　50 Ｈｚ　2.2ｋｗ

7　凝集沈殿槽集泥機

減速機

CVVM05-6190TA-TL-17255　３相 200ｖ　50 Ｈｚ　0.4ｋｗ

8　放流ポンプ

水中ポンプ

CN80　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　3.7ｋｗ

9　返送汚泥ポンプ(沈澱槽引抜ポンプ)

CNA65-22　２台　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　2.2ｋｗ

10　凝集沈澱槽引抜ポンプ

CNA50-18　２台　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　2.2ｋｗ

11　汚泥抽出ポンプ

CAN50-18　２台　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　2.2ｋｗ

12　高分子凝集剤圧送ポンプ（C－700S 用）

ＮＦＡ－322FN4G-07SC　2 台　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　0.75ｋｗ

13　高分子凝集剤投入ポンプ（A－210 用）

LK－32VS－02　2 台　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　0.2ｋｗ

14　硫酸バンド投入ポンプ

LK－41VC－02　2 台　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　0.2ｋｗ

15　遠心分離機

SD250P　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　11ｋｗ

16　凝集剤撹拌機

MT－26－GNS-0.75　２台

17　硫酸バンド圧送ポンプ

LK－41VC－02　1 台　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　0.2ｋｗ

18　ろ液槽ポンプ

CN501　　２台　　3 相 200ｖ　50 Ｈｚ　0.75ｋｗ

19　加圧給水ポンプ

GME　CH　A50×6-53.5　　３台

様式-1

モエレ処理場浸出水処理業務日誌　令和　　年　　月　　日　天候

外気温	最高　　℃ 最低　　℃	降雨量　　mm	始業 終業	時　　分 　　時　　分	就業人員 　　人

処理業務											
	原水流入量	ブロック No.	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
		浸出水量	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3

項目		実績	備考
濃縮汚泥処理量		m^3	
引抜汚泥量		m^3	
処理水量		m^3	
脱水ケーキ量		t	
遠心分離機運転時間		h	
硫酸バンド		ℓ	
高分子凝集剤	凝沈	ℓ	
	脱水	ℓ	
燃料（灯油）		ℓ	

試験・測定	項目		水温℃	pH	DO	透視度	
	沈殿槽（流入部）	流入水					
		沈殿水					
	沈殿槽（流出部）	出口					
	薬品混和槽	出口					
	凝集沈殿槽	放流水					

その他報告事項

※硫酸バンド貯留タンク異常　　有　　無

受託者　　社　　名

記入者氏名　　業務責任者氏名　　印

様式-2

モエレ処理場電気日誌

令和　　年　　月　　日（　　）天候　　気温　　℃　湿度　　％

電力受電・負荷記録

項目 / 時刻	受電盤								配電盤				変圧器	空気	遠心分離機			井水加圧ポンプ	脱湿装置ヒータ
	電圧			電圧			力率	電力	電灯		動力		温度	沈殿槽	モータ	汚泥ポンプ	薬品ポンプ		
	R－S	S－T	T－R	R	S	T	%	kW	電圧（V）	電流（A）	電圧（V）	電流（A）	℃	A	A	A	A	A	A
10																			
13																			
16																			

項目 / 時刻	加圧ポンプ（A）	緩速攪拌機（A）		急速攪拌機（A）	放流ポンプ（A）		井水ポンプ（A）	返送汚泥ポンプ（A）		凝集沈殿引抜ポンプ（A）		濃縮汚泥抽出ポンプ（A）		温水循環ポンプ（A）	汚泥貯留槽攪拌機(A)	汚泥ポンプ（A）	薬品ポンプ（A）	浸出水圧送ポンプ（A）	
		No１	No２		No１	No２		No１	No２	No１	No２	No１	No２					No１	No２
10																			
13																			
16																			

電力量記録

当日	kW	備考（保守・点検作業等記録）	受託者 社　名 記入者 業務責任者　　印
前日	kW		
電力量（×10）	kW		
月累計	kW		

様式―3

所　長	係　長	係

モエレ処理場業務月報　（令和　　年　　月）

受託者

社　　名

業務責任者　　印

	項　　目	当月実績	当月平均	累　　計
処理	原　水　処　理　量	m³	m³	m³
	濃　縮　汚　泥　処　理　量	m³	m³	m³
	脱　水　ケ　ー　キ　量	t	t	t
	脱　水　機　運　転　時　間	h	h	h
	井　水　使　用　量	m³	m³	m³
	電　力　使　用　量	kWh	kWh	kWh

当月平均原水処理量（暦日数による）　当月平均濃縮汚泥処理量（稼動日数による）

薬品等	品　　名		納　品　量		使　用　量		
			当月実績	累　計	当月実績	当月平均	累　計
	灯　油		ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
	硫　酸　バ　ン　ド		ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
	高　分　子	凝　沈	kg	kg	kg	kg	kg
	凝　集　剤	脱　水	kg	kg	kg	kg	kg

灯油及び脱水高分子凝集剤（脱水）月平均使用量は稼動日数による。

硫酸バンド及び高分子凝集剤（凝集沈殿）月平均使用量は暦日数による。

試験・測定等	項目	区分	温度℃	pH	ＤＯ	透視度	整備	点検	清掃	備　　考
	曝　気　槽	流入水								温度、pH、ＤＯは月平均記入
		NO1								
		NO2								
	引抜汚泥	―								
	沈　殿　槽	出　口								
	薬品混和槽	出　口								
	放　流　水	沈殿出口								

貯　留　池	場　所	温度℃	pH	入孔水面高m	
ブロック別原水	入孔１				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				

設備等	点検
	整備
	清掃
管理	施設
	構内（除雪等）
	記入者氏名

様式―4

所　長	係　長	係

モエレ処理場受電設備等点検記録(1/3)　（令和　　年　　月）

受託者　　社　　名
業務責任者　　印

点検対象機器		点検方法	点検項目	巡視・点検 日	週	月	結果	備考（処置等）
受電設備	責任分界となる区分開閉器	目視 触手	1 他物との接触 2 損傷、腐食、操作紐の切れ	○		◎ ◎	□ □	
	引込線 ・電線 ・ケーブル ・支持物 ・支線 ・腕木 ・ガラス等	目視	1 架空電線のたるみ、他の工作物、植物との距離 2 支持物の損傷、脱落、傾斜 3 ケーブル損傷、変形 4 保護管の損傷、腐食 5 埋設標識の有無、損傷 6 敷設部の無断掘削	○ ○		◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	□ □ □ □ □ □	
	断路器	目視	1 本体の損傷、変形、変色 2 接続箇所の変色 3 接地線の損傷、外れ、断線			◎ ◎ ◎	□ □ □	
	遮断器 開閉器 （高圧交流負荷開閉器）	目視 ほか	1 本体の損傷、変形、亀裂、過熱異音、異臭、汚損、発錆、腐食 油漏、油量、開閉表示（指示、点灯） 2 接続箇所の変色 3 接地線の損傷、外れ、断線			◎ ◎ ◎	□ □ □	
	電力ヒューズ	目視	1 本体の損傷、亀裂	○		◎	□	
	計器用変成器 ・計器用変圧器 ・計器用変流器 ・零相変流器等	目視 ほか	1 本体の損傷、亀裂、異音、異臭汚損	○		◎	□	
	変圧器	目視 ほか	1 温度、異音、異臭 2 損傷、変形、亀裂、温度、過熱、異音、異臭、汚損、腐食、油漏、振動、油量 3 接続箇所の変色 4 接地線の損傷、外れ、断線	○		◎ ◎ ◎	□ □ □	
	低圧コンデンサー	目視 ほか	1 損傷、変形、異臭 2 損傷、変形、異臭、汚損、ふくらみ 3 接続箇所の変色 4 接地線の損傷、外れ、断線		○	◎ ◎ ◎	□ □ □	

＊　日、週の巡視・点検結果はモエレ処理場電気日誌（様式―2）に記入すること。
＊　点検結果は□内に、良はレ印、不良は×印で示すこと。
＊　この様式により難いときは、これに準じた別の様式を使用することができる。

様式―4

モエレ処理場受電設備等点検記録(2/3)　（令和　　年　　月）

点検対象機器		点検方法	点検項目	巡視・点検 日	週	月	結果	備考（処置等）
受電設備	受電盤 ・電圧計 ・電流計 ・表示灯 ・制御回路 ・地絡継電器 ・過電流継電器等	目視	1 指示計器の指示状態、損傷、汚損 2 表示灯の故障、損傷、汚損 3 裏面配線の損傷、過熱、変色、断線、汚損、端子のゆるみ 4 保護継電器の損傷、汚損、設定値及び動作表示の確認 5 接地線の損傷、外れ、ゆるみ、断線 6 配電盤等点検スペース	○ ○		◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	□ □ □ □ □ □	
	受電所建物キューピクルの金属箱	目視	1 本体の損傷、変形、汚損、鍵の状態 2 本体の損傷、変形、汚損、発錆、腐食、雨漏、雨雪侵入、鍵の状態、小動物侵入口の有無、換気、塗料剥離、照度不足、周囲の整理・整頓状態 3 接地線の損傷、外れ、断線 4 ヒューズ等予備品の有無 5 消化設備等の状態 6 標識の状態	○		◎ ◎ ◎ ◎ ◎	□ □ □ □ □	
	接地装置	目視	1 端子の損傷 2 接地線の損傷、外れ、断線			◎ ◎	□ □	
配電設備	配電盤 ・電圧計 ・電流計 ・表示灯 ・制御回路 ・地絡継電器 ・過電流継電器等	目視	1 指示計器の指示状態、損傷、汚損 2 表示灯故障、損傷、汚損 3 裏面配線の損傷、過熱、変色、断線、汚損、端子のゆるみ 4 保護継電器の損傷、汚損、設定値及び動作表示の確認 5 接地線の損傷、外れ、ゆるみ、断線 6 配電盤等点検スペース	○ ○		◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	□ □ □ □ □ □	
	低圧動力・電灯盤 ・指示計器 ・操作表示灯 ・遮断器（ﾌﾞﾚｰｶ） ・操作開閉器 ・電磁開閉器 ・制御回路	目視	1 指示計器の指示状態、損傷、汚損 2 表示灯の故障、損傷、汚損 3 配線の損傷、過熱、変色、断線、汚損、端子のゆるみ 4 漏電遮断器の動作確認 5 操作開閉器の動作確認 6 電磁開閉器の唸り、過熱 7 接地線の損傷、外れ、断線	○ ○		◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	□ □ □ □ □ □ □	
	接地装置	目視	1 端子の損傷、腐食 2 接地線の損傷、外れ、断線			◎ ◎	□ □	

様式―4

モエレ処理場受電設備等点検記録(3/3)　（令和　　年　　月）

点検対象機器		点検方法	点検項目	巡視・点検 日	週	月	結果	備考（処置等）
電気使用場所の設備	電動機	目視 ほか	1 本体の損傷、異音、異臭、汚損、振動 2 接地線の損傷、外れ、ゆるみ、断線	○ ○		◎ ◎	□ □	
	電気溶接	目視 ほか	1 本体の損傷、変形、汚損、腐食、過熱 2 溶接ケーブルの損傷、亀裂、接続方法 3 溶接ホルダーの損傷 4 接地線の損傷、外れ、断線		○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎	□ □ □ □	
	照明設備	目視 ほか	1 本体の損傷、変形、変色、異音、腐食、脱落、防水、不点灯 2 接地線の損傷、外れ、断線			◎ ◎	□ □	
	配線及び配線器具	目視 ほか	1 開閉器、配線器具等の損傷、変形、亀裂、腐食、異音、過熱、汚損、脱落、変色 2 配線電線の被覆損傷、接続方法 3 漏電遮断器及び漏電火災警報器の試験ボタンによる動作確認 4 分電盤、操作盤等の損傷、汚損、操作、点検用スペース			◎ ◎ ◎ ◎	□ □ □ □	
	その他機器	目視 ほか	1 本体の損傷、異音、異臭、汚損、振動、過熱、腐食 2 接地線の損傷、外れ、断線 3 汚損箇所の清掃			◎ ◎ ◎	□ □ □	

様式―5

所　長	係　長	係

モエレ処理場浸出水処理設備点検記録

点検月日　　令和　　年　　月　　日　　受託者　　社　　名

点検者　　業務責任者　　印

点検結果　異常なし：○　要修理：×

点検対象機器名	点検結果	備考	点検対象機器名	点検結果		備考			
浸出水調整槽揚水ポンプ　（1台）			高分子注入ポンプ　（2台）						
高分子凝集剤攪拌機　（2台）			硫酸バンド注入ポンプ　（2台）						
沈殿槽汚泥掻寄機			放流ポンプ　（2台）						
沈殿槽汚泥引抜ポンプ　（2台）									
急速攪拌機			点検項目 / 点検対象機器	異常音	振動	発熱	油量	分離液	
緩速攪拌機　（2台）									
凝集沈殿槽汚泥掻寄機			脱水装置						
凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプ　（2台）									
汚泥貯留槽攪拌機									
返送汚泥ポンプ　（2台）									
ろ液ポンプ　（2台）									
高分子凝集剤圧送ポンプ　（2台）									

様式８　再委託承諾願

令和　　年　　月　　日

再 委 託 承 諾 願

札幌市
代表者 市長　　秋元　克広　　様

文書受付印

受注者　（住所）
（氏名）　　㊞

業務番号　（　　）第　　号

業務名

再委託に付する業務	再委託先 住所・氏名 会社名及び代表者名	履行期間	電話番号等

※再委託する事項については具体的に記載すること。

上記の事項について承諾を願います。

様式１

令和　　年　　月　　日

業　務　従　事　者　名　簿（一般用）

（あて先）札　幌　市　長

住　　所

受託者　　商号又は名称

代表者氏名　　㊞

次の業務において、業務対象施設に日常的に従事（常駐）する労働者の名簿を提出いたします。

業務名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	氏　　名 （雇用年月日）	年齢	所　　定 労働時間	社会保険の 加入状況	資　格　等
1	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
2	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
3	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
4	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
5	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
6	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
7	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
8	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
9	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	
10	（　年　月　日）		日： 週：	健康保険 雇用保険	

この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を用いることができる。

様式２

業務従事者配置計画書

通常の業務日1日当たりの労働者の配置計画を報告します。

（労働時間　監視・断続的労働　休憩時間）

(注意)複数の労働者とローテーションを組んで対応している場合は、業務従事者名簿(様式1-1又は様式1-2)により報告したすべての労働者について記載する必要はありません。

従事者No.	従事者区分(A・B・C)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	1日の労働時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
	A・B・C																									時間
上記時間帯に係る従事者区分の人数(1時間単位で記載)																										合計 時間
A																										人
B																										人
C																										人
合計																										人

この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を用いることができる。

様式３

令和　　年　　月　　日

業務従事者健康診断受診等報告書（一般用）

(あて先)札　幌　市　長

住　　所

受託者　　商号又は名称

代表者氏名　　㊞

下記１の業務に日常的に従事(常駐)している労働者〔「業務従事者名簿(様式 1-1)」により報告した労働者〕の労働安全衛生法に基づく健康診断の受診状況について、下記２のとおり報告いたします。

記

１　業　務　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　健康診断受診状況

報告対象業務履行期間：令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日

	氏　　名	社会保険の加入状況		健康診断受診日	備　　考
1		健康保険	雇用保険	．　．	
2		健康保険	雇用保険	．　．	
3		健康保険	雇用保険	．　．	
4		健康保険	雇用保険	．　．	
5		健康保険	雇用保険	．　．	
6		健康保険	雇用保険	．　．	
7		健康保険	雇用保険	．　．	
8		健康保険	雇用保険	．　．	
9		健康保険	雇用保険	．　．	
10		健康保険	雇用保険	．　．	

この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を用いることができる。

様式4

業務従事者支給賃金状況報告書

業務従事者名簿で報告した労働者の令和　　年　　月に支給した支給賃金状況を次の表のとおり報告します。

商号又は名称

作 成 者　　（連絡先　　）

従事者No.	年齢区分	従事者区分	所定労働時間			1月の所定労働日数	基本給形態（金額）	月支給額内訳（時給・日給は月額合計）		月支給合計③（①＋②）	月～月末までの賞与等	社会保険の加入		備考
			日	週	月			給与A ① 基本給 その他	給与B ② 通勤手当 精皆勤・家族手当			雇用保険	健康厚生年金	
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							
	ア 40歳未満 イ 40歳以上 65歳未満 ウ 65歳以上	A B C					月給・時給・日給 （　　）円							

この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を用いることができる。

所　長	管理係長	整備担当係長	係

清掃業務報告書

令和　　年　　月分

モエレ処理場　　受託者:　　責任者　　印

	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	清掃場所																
日常清掃	玄関・ホール																
	階　　段																
	廊　　下																
	事　務　室																
	試　験　室																
	休　憩　室																
	便　　所																
定期清掃	年2回(6ヶ月1回)																
作業者　印																	
確認者　印																	

	日付	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	清掃場所															
日常清掃	玄関・ホール															
	階　　段															
	廊　　下															
	事　務　室															
	試　験　室															
	休　憩　室															
	便　　所															
定期清掃	年2回(6ヶ月1回)															
作業者　印																
確認者　印																

役務－第２２号様式

完　了　届

年　　月　　日

（あて先）札幌市長

住　所

氏　名　　印

名　称

上記役務は，　　年　　月　　日に完了したのでお届けします。
（なお，完了した役務の内容は，作業日誌等にて逐次報告したとおりです。）

受付	年　　月　　日	完了を確認した職員	印

課　長	係　長	係

年　月　日上記のとおり完了届の提出があったので，この役務の履行検査に係る検査員及び立会人については次の者に命じ，　年　月　日に検査を実施してよろしいか。

検査員　　職　　氏　名

立会人　　職　　氏　名

札環処管　第　　号

令和　　年　　月　　日

様

札幌市長　　秋元　克広　印

担当職員の指定について

下記業務に係る担当職員として，次の者を指定したので通知します。

記

1　業　　務　　名

2　担 当 職 員

（業務主任）　所　属
職
氏　名

（業 務 員）　所　属
職
氏　名